

## 都政課題解決スタートアップピッチイベント

### UPGRADE with TOKYO

#### 第 45 回ピッチイベント 募集要項詳細

##### 【募集期間】

2024 年 11 月 11 日(月)～2024 年 11 月 29 日(金) 18 時(予定)

##### 【応募方法】

UPGRADE with TOKYO ホームページの第 45 回募集ページ(<https://upgrade-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/theme/#theme45>)内応募フォームリンク

(<https://forms.gle/vfzAtxEvzzk1SY157>)より、応募されるスタートアップのピッチ登壇予定者が、応募フォームに必要事項をご記入いただき、ピッチ素案資料と合わせてご提出をお願いします。

スタートアップのピッチ登壇予定者に対し、TOKYO UPGRADE SQUARE (TUS) の支援もご提供できるよう、応募に当たっては、メンバー登録をしていただくことを推奨します。メンバー未登録の方は、募集ページ(<https://upgrade-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/theme/#theme45>)内の TUS メンバー登録リンク(<https://upgrade-square.jp/apply>)より、メンバーの登録をお願いします。

※TOKYO UPGRADE SQUARE (TUS) は UPGRADE with TOKYO の兄弟事業であり、行政機関 × スタートアップの連携・協働を促進し、スタートアップの最適なプロダクトを社会へフィットさせることを目指す、官民連携の場を提供しています(ピッチイベントも TUS で開催中)。

スタートアップのピッチ登壇予定者に対し、TUS の支援もご提供できるよう、応募に当たってはメンバー登録をお願いします。

<TOKYO UPGRADE SQUARE (TUS) で提供するサービス>

- コワーキング・交流スペースの利用(様々な属性のメンバーと交流できます)
- TUS オリジナルイベントへの参加(官民連携促進や事業成長に資するセミナー、パネルディスカッション、行政機関からのメンタリング等)
- 企業からの要望に応じて、スタートアップ支援の専門家により、行政機関に対する提案内容のブラッシュアップや経営課題の解決に資するアドバイスを提供

##### 【応募及び問合せ先】

都政課題解決スタートアップピッチイベント UPGRADE with TOKYO 運営事務局

E-mail : [upgrade.with.tokyo@jp.ey.com](mailto:upgrade.with.tokyo@jp.ey.com)

##### 【イベント概要】

審査を通過した 5 社のスタートアップによるピッチイベントを下記の通り開催します。

- 日時 2024 年 12 月 23 日(月) 14 時 00 分～16 時 45 分を予定(会場集合は 12:時 30 分を予定)

### ●主な内容

- 1 スタートアップによるピッチ(5社を予定)
- 2 結果発表及び審査委員講評
- 3 フォトセッション

### 【開催場所】

TOKYO UPGRADE SQUARE (新宿区西新宿二丁目6番1号 新宿住友ビル25階)

## 1. 本事業の目的

東京が抱える様々な都政課題を解決するためには、民間から生まれた画期的な製品・サービスを活用することが重要です。

そこで東京都では、スタートアップによる都政課題解決に向けた製品等のピッチや、行政機関、VCや企業等との交流の場を創出するイベントを2019年12月から開催しています。

ピッチ審査で審査委員から都政課題の解決に資すると認められたスタートアップは、事業の協働等に向けて具体的な交渉を進めるきっかけを持つことができます。

ぜひご応募ください。

## 2. 主な応募対象

応募条件は、以下のとおりです。応募には、業種の制限はありません。

応募条件に該当するか判断に迷う場合は、運営事務局までご相談ください。

- 創業後10年未満又は第二創業後10年未満であること  
(注)一般社団法人、合同会社、個人事業主等も含まれます。  
また、第二創業には、製品・サービスの新リリースや大きな改良も含まれます。
  - 応募テーマに合致した製品・サービスを有し、最新バージョンをリリースしてから5年以内であること
  - 公序良俗に反する事業を行うなど、東京都が支援することが適さないと判断した企業等ではないこと
- ※過去に本事業で優勝している場合については応募対象外とします

## 3. 応募テーマ

### 『南大沢地区における新たなスマートモビリティの導入』(都市整備局)

東京都では、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出す「スマート東京」の実現に向け、南大沢地区を先行実施エリアと位置づけ、先端技術等を活用した分野横断的なサービスの社会実装を目指しています。この取組を推進していくため、地元自治体、地元企業及び通信事業者等と「南大沢スマートシティ協議会」を令和2年に設立し、南大沢地区の地域課題解決に向けた様々な取組を実施しています。

南大沢地区が抱える地域課題の一つとして、駅や商業施設から住宅地まで(いわゆるラストワンマイル)の高低差が大きく、移動の利便性が低いことが挙げられます。特に、徒歩や自転車による移動が難しい高齢者や荷物を持って移動される方などのサポートが課題となっています。

そこで、より多くの方が気軽に、安全に利用することができるスマートモビリティを使って、このような課題を解決するサービスの提案を募集します。

## ■期待するサービスの例

- ・ 高齢者をはじめ、より多くの方が安全・安心に利用できるパーソナルモビリティのシェアサービス
- ・ グリーンスローモビリティやパーソナルモビリティを用いた送迎サービス
  - 商業施設～住宅地、バス停・駅～住宅地 等、ラストワンマイルを補うもの

## ■その他の要件

- ・ 利用者自ら運転する場合は、運転免許証が不要であること。
- ・ シェアサイクリング、電動キックボード\*以外のモビリティを使用すること。  
\*南大沢地区で既に導入
- ・ モビリティは人だけでなく買い物をした商品など一定程度の荷物も運べる機能を有すること。但し、1つのモビリティでは、人あるいは物のみを運べる機能しか有しない場合でも、複数のモビリティを組み合わせても人も物も運べる提案であれば可とする。
- ・ 単なる実証実験に留まらず、将来的には公費負担を前提とすることなく長期的に事業を継続できるような提案とすること。

## 4. 主な審査基準

次のような観点で審査し、5社(予定)を選出します。

- ・ 製品・サービスが上記応募テーマに合致しているか
- ・ 製品・サービスを用いて東京都や区市町村と協働することにより、都政課題の解決に資することが見込まれるか
- ・ 製品・サービスに新規性・独創性があるか、ソーシャルインパクトがあるか
- ・ 財務状況等に問題がなく、製品・サービスの生産(提供)計画に適切性があるか

応募者全員に対し、事務局から結果を通知します。

## 5. 応募手続き

### (1) 応募スケジュール(予定)

応募期間	2024年11月11日(月)～2024年11月29日(金) 18時
書類審査結果通知	2024年12月4日(水)頃を予定
プレピッチ審査 (ピッチイベント登壇者選出)	2024年12月11日(水)午後を予定 ※オンラインによる実施

(注) 書類審査通過者には事務局等に対するプレピッチ(オンライン)を実施していただきます。

参加方法は審査通過者に別途ご連絡いたします。

応募に当たっては、12月11日(水)午後の日程を空けておいていただきますようお願いいたします。

### (2) 提出書類

応募フォームへの記入及び公開可能なピッチ資料ドラフト版(以下の説明を含む。pdfファイル形式。10MB以内。)

- ・ 製品・サービスの名称・概要
- ・ 製品・サービスが応募テーマに合致していること
- ・ 製品・サービスを用いて東京都や区市町村と協働することが都政課題解決に資すること
- ・ 東京都及び区市町村と契約する場合の内容や金額別プラン
- ・ 東京都及び区市町村との役割分担
- ・ 東京都及び区市町村との協働や製品・サービスの導入までの全体スケジュール

(注)公開可能なピッチ資料ドラフト版は、少なくとも書類審査で利用します。

応募者全員が提出してください。

また、プレピッチ前、ピッチ本番前に、公開可能なピッチ資料を出し直すことができます。

### (3)提出方法

<https://forms.gle/vfzAtxEvzzk1SY157>より、必要事項を応募フォームにご記入の上、ピッチ資料ドラフト版と合わせてお申し込みください。

### **6. その他**

状況により、ピッチイベントをオンラインで開催する可能性があります。

## (参考)

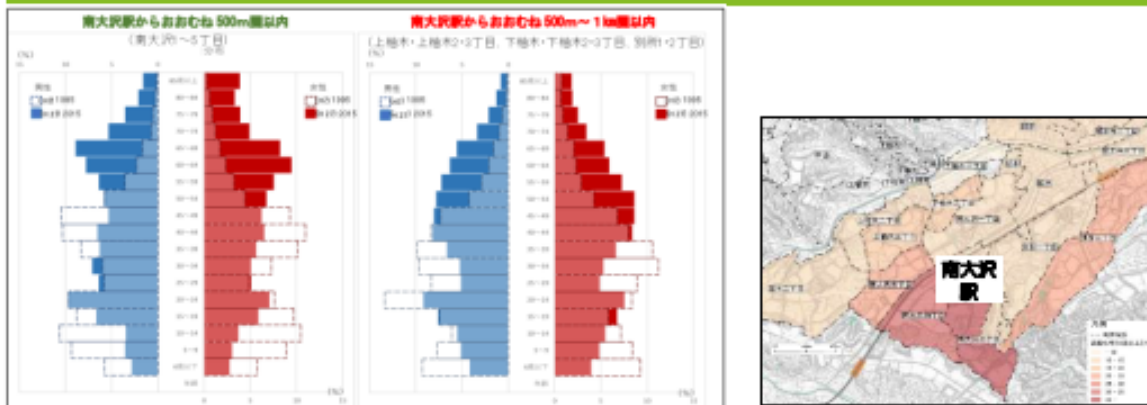
南大沢地区におけるスマートシティ推進は、令和5年5月公表の「南大沢スマートシティ実施計画 ver.3」([https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami\\_osawa.html](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami_osawa.html))を踏まえて実施しています。本実施計画では、「モビリティ領域」「まちの賑わい領域」「その他領域」の3つのテーマについて検討していますが、今回のコンテストでは「モビリティ領域」における課題解決を目指しています。

以下に本実施計画のモビリティ領域における南大沢地区の現状と課題をお示しいたしますので参考としてください。なお、本実施計画には課題解決の方向性についても記載しておりますが、記載されている解決策の方向性にとらわれず、柔軟な視点から解決策を提示してください。

## 南大沢地区の現状①

## 南大沢駅周辺 人口の年齢構成及び高齢化率

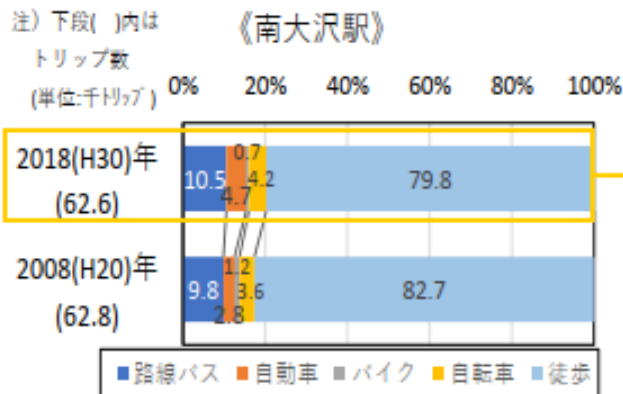
実施計画p.14より



- ✓ 南大沢駅周辺では高齢化が進行している
- ✓ 高齢化率は特に駅南西部の居住地区が高い数値を示している

## 南大沢駅における駅端末交通手段

実施計画p.16より



南大沢駅周辺では、交通手段の概ね8割程度が徒歩となっている。

出典) 東京都市圏交通計画協議会「東京都市圏パーソントリップ調査」

令和5年5月「南大沢スマートシティ実施計画 ver.3」

[https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami\\_osawa.html](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami_osawa.html)

(参考)

南大沢地区の現状②

南大沢地区のバスルート

実施計画の17より



南大沢駅から発着するバス路線  
 路線バス  
 16系統  
 空港路線  
 2系統（成田、羽田）  
 運行間隔  
 駅北側は朝・日中とも10分未満間隔と高頻度であるが、駅南側は15～30分間隔

■ 駅を発着とする循環路線(駅北側路線) ■ 駅を発着とする循環路線(駅南側路線)

出典) 八王子市「八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針」(2019.3)に加筆・修正

南大沢駅周辺の概況と歩行者ネットワーク

実施計画の20より

- ・ 駅周辺は高低差のある丘陵地となっており、徒歩や自転車での移動は、高齢者や身障者等にとって負担が大きい状況となっている。
- ・ 住宅団地から地区内幹線道路沿いのバス停まで、階段やスロープを経由した高低差を伴う移動区間もみられる。
- ・ 駅周辺の歩行者ネットワークは、施設内を移動する経路も存在する。



■南大沢駅付近の高低差の状況



■歩車分離道路の状況



出典) 南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会「南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会(第4回)」(2023.2)「南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会(第1回)」(2019.11)

(参考)

南大沢地区の課題①

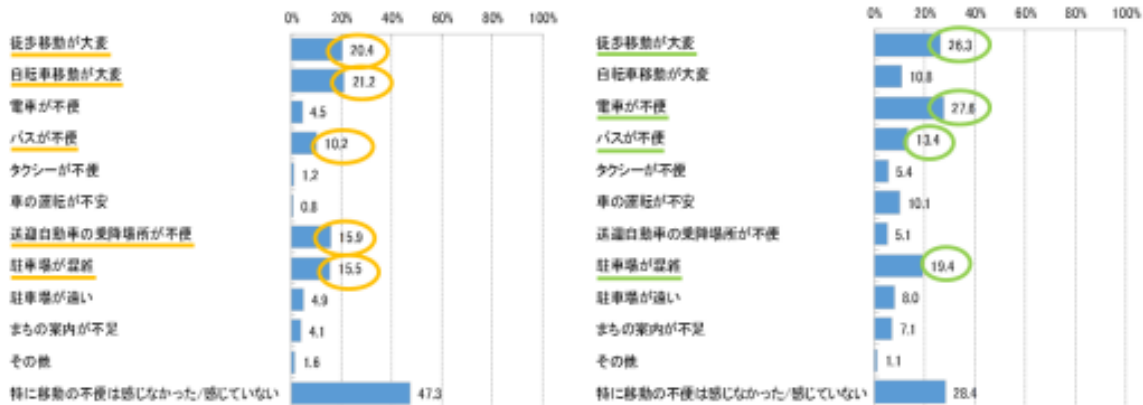
南大沢地区の移動における課題（複数回答）

実施計画p.53より

- ・ 居住者は自転車、徒歩、バスの移動と、乗降場所、駐車場の混雑について大変や不便との意見が多い。
- ・ 来街者は電車、徒歩、バスの移動及び駐車場の混雑に関する意見が多い。

居住者 n=245

来街者 n=790

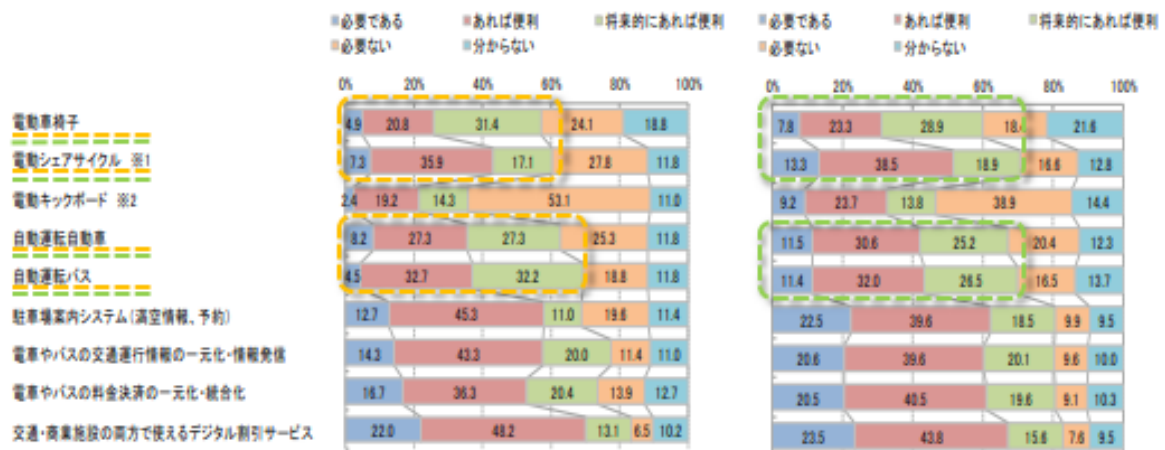


南大沢地区にあったらよいと思う交通サービスや乗り物（複数回答）実施計画p.56より

- ・ アンケート調査では、居住者・来街者の両方において自動運転やラストワンマイル解消のためのモビリティサービスへの関心の高さが見受けられた。

居住者 n=245

来街者 n=790



居住者と来街者の60%前後が電動車椅子/シェアサイクル、自動運転自動車/バスを必要またはあれば便利であると回答

※1 電動自転車レンタルサービス

※2 モーターを内蔵する非完成品の二輪の乗り物

## (参考)

## 南大沢地区の課題②

## 南大沢地区における交通(モビリティ)の課題(まとめ)

実施計画p.83より

状況・ニーズ		モビリティの課題	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南大沢駅前からバス停まで道路面に対して高低差が存在している。</li> <li>■ 駅周辺は丘陵地となっており、高齢者や身障者等にとって負担が大きい。</li> <li>■ 商業、病院等は駅周辺に集中し、大学、公園等は3km圏内に複数立地。</li> <li>■ 駅西側や南側では、築年数が30年以上経過している住宅団地もみられる。</li> <li>■ 駅南側の住宅地では特に高齢化が深い割合である。</li> </ul>	<p>既存の交通手段と情報提供方法だけでは、 場所・人に合わせた移動手段を最適に選択できていない</p>	
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電動シェアサイクル等多様な移動手段へのニーズがある。</li> <li>■ 駅周辺は交通手段の8割が徒歩となっている。</li> <li>■ バス・タクシー運転手は年々高齢化が進んでおり、担い手の確保が課題となっている。</li> <li>■ 高齢者からは車がないと買い物・通院に不便との声がある。</li> <li>■ 今後高齢化による免許返納が進んだ場合、買物や通院に苦勞する住民が増加する恐れがある。</li> <li>■ 移動時間短縮を目的とした横移動の提供を望んでいる。</li> </ul>	ラストワンマイルの移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラストワンマイル解消に向けた移動環境の整備が進んでいない。</li> <li>・ 住宅団地から駅・バス停でのアクセス交通の確保が困難である。</li> <li>・ 丘陵地の高低移動の負担が大きい。</li> </ul>
移動プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前交通ターミナルについて、バスの頻度は高齢化が進む駅前西部エリアが、北部エリアに比べ相対的に少なくなっている。</li> <li>■ リアルタイムのバス案内情報板等は未設置であり、円滑な乗り換えがややづらい。</li> <li>■ 居住者や来街者は電車、自転車、徒歩、バスの移動と、乗降場所、駐車場の混雑に不便を感じている。</li> </ul>	エコかつ多様な移動ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺において、利用者に応じた個別最適な移動がない。</li> <li>・ 横移動が整備されておらず効率的な移動ができない。</li> <li>・ 環境に配慮した移動手段が少ない。</li> </ul>
将来動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 先端技術の検証・活用により、持続可能なスマートシティを実現を想定している。</li> <li>■ 自動運転車を導入したフィーダー交通等、多様な交通モードによる移動円滑化を想定している。</li> <li>■ 地域間の移動情報の充実を想定している。</li> <li>■ 歩きやすさと賑わいの創出に向けた交通環境の改善を想定している。</li> <li>■ 新たな移動アクセスの構築を想定している。</li> </ul>	移動サービスの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道とバス・タクシー・自転車等の円滑な乗換のためには、より高度かつ利用しやすい移動サービスや情報発信手段が必要である。</li> </ul>
将来動向		既存交通の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担い手の高齢化に伴いサービス提供機会が減少する恐れがある。</li> </ul>
<p><b>今回のコンテストのテーマに関連する課題</b></p>			